

## Ⅱ 文化芸術施設の概要

### 1 札幌芸術の森

札幌芸術の森は、「文化芸術都市さっぽろ」のシンボルとして、「制作・研修機能」、「情報・交流機能」、「鑑賞・発表機能」を持つ、新しい芸術文化の場として、自然と都市、芸術、文化が調和した環境づくりを目指しており、広く札幌市民に愛され親しまれている施設である。

また、豊かな自然環境の中で、音楽・舞台芸術・工芸などの創作・発表、野外美術館や屋内美術館での美術鑑賞など、施設を活用した多彩な事業を展開しており、札幌の文化芸術の振興や人材育成の拠点として、着実に成果をあげ、市における創造的な文化芸術環境づくりに貢献している施設である。



#### (1) 施設概要

所在地：南区芸術の森2丁目75番地

電話番号：011-592-5111 FAX：011-592-4120

開園時間：午前9時45分～午後5時（6月1日～8月31日は午後5時30分まで）

休園日：4月29日から11月3日まで 無休

11月4日から翌年4月28日まで毎週月曜日（当該日が祝日の場合は翌日）、  
年末年始（12月29日～1月3日）

敷地面積：389,653.82㎡

#### <施設内容>

施設名	面積(㎡)	摘要
芸術の森センター	1,876	管理棟、2階部分はレストラン
野外美術館	75,000	彫刻64作家74点を公開
屋内美術館	3,370	ショップ、喫茶を併設。 展示室851㎡、展示ロビー173㎡、B展示室90㎡など
アートホール	5,834	アリーナ645㎡、大練習室488㎡、中練習室171㎡、小練習室6室合計224㎡、ピアノ練習室25㎡、特別控室31㎡など
工芸館	1,100	展示ホール271㎡、染色研修室89㎡、織研修室92㎡など
陶工房	522	陶芸研修室100㎡など
クラフト工房	1,097	団体工芸体験施設。大・中・小制作室
木工房	212	木工研修室150㎡など
版画工房	430	版画研修室227㎡など
ロッジ	80	休憩、炊事設備あり
絵画アトリエA	145	休憩、炊事設備あり
絵画アトリエB	113	休憩、炊事設備あり
多目的アトリエ	133	休憩、炊事設備あり
有島武郎旧邸	259	有島武郎の資料を展示(無料開放)
野外ステージ	7,000	ステージ・楽屋棟延面積1,766㎡(ステージ面積348㎡)最大観客数5,000人
佐藤忠良記念子どもアトリエ	345	展示室99.62㎡、ワークショップ・ルーム49.69㎡ 図書コーナー24.21㎡など

<所蔵作品数>

(令和3年3月31日現在)

技法的区分	点数	分野別			取得方法別		
		北海道	日本	海外	購入	受贈	管理換等
油 彩	628	610	18	0	8	597	23
水彩・素描	155	107	45	3	23	131	1
日 本 画	40	38	2	0	0	37	3
版 画	326	280	24	22	5	320	1
写 真	75	29	45	1	0	75	0
彫 刻	267	161	77	29	100	166	1
うち野外美術館	74	21	40	13	67	2	5
工 芸	9	8	1	0	0	9	0
デザイン	31	28	3	0	0	31	0
部族芸術	118	0	0	118	0	118	0
合 計	1,723	1,282	255	186	203	1,486	34

(2) 施設の使用料

ア 観覧料

区分		使用料		備考
		単位	金額	
野 外 美 術 館	個人	観覧1人1回 につき	700円(11月4日から翌年4 月28日までは100円)	中学生、小学生及び 小学校入学前の者 は、無料とする。
	団体(20人以上)		630円(11月4日から翌年4 月28日までは、90円)	
屋 内 美 術 館	所蔵品展	個人	観覧1人1回 につき	200円
				団体(20人以上)
	特別展	個人	1,500円の範囲内でその 都度市長の承認を得て定 める額	
				団体(20人以上)

イ 野外ステージ及びアートホール

区分		使用料		備考	
		単位	金額		
野外ステージ	入場料の類を徴収しない場合		1日につき	46,000円	(1) 「1日」とは、供用時間をいう。 (2) 市長が供用時間を超過し、又は繰り上げて使用することを認めた場合は、当該超過又は繰上時間1時間につき、1時間当たりの利用料金を2割増した額を加算する。 (3) 使用料の額に10円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てる。 (4) 備付物件以外の電気器具その他の機械器具を使用した場合は、市長の承認が定めるところにより、その使用に係る実費相当額を徴収する。 (5) 使用時間が単位時間に満たない場合であっても、当該単位時間どおり使用したものとみなす。
	入場料の類を徴収する場合	入場料の類の最高額が500円以下のとき		46,000円	
		入場料の類の最高額が500円を超え2,000円以下のとき		92,000円	
		入場料の類の最高額が2,000円を超え5,000円以下のとき		184,000円	
		入場料の類の最高額が5,000円を超えるとき		368,000円	
アートホール	小練習室		昼間	1,100円	(1) 「昼間」とは、午前10時から午後4時までをいう。 (2) 「夜間」とは、午後5時から午後11時までをいう。 (3) 「昼夜間」とは、午前10時から午後11時までをいう。 (4) 「全日」とは、午前10時から翌日の午前9時までをいう。 (5) 使用者が当該施設の使用を中断することなく、更に継続して使用する場合の全日とは、午前10時から翌日の午前10時までをいう。 (6) 市長が時間区分を超過し、又は繰り上げて使用することを認めた場合は、当該超過又は繰上時間1時間につき、当該施設の昼間使用の場合の1時間当たりの使用料を2割増した額を加算する。
			夜間	1,100円	
			昼夜間	1,600円	
			全日	2,100円	
	中練習室		昼間	3,700円	
			夜間	3,700円	
			昼夜間	5,600円	
			全日	7,400円	
	大練習室		昼間	11,100円	
			夜間	11,100円	
			昼夜間	16,700円	
			全日	22,200円	
	ピアノ練習室		昼間	1,300円	
			夜間	1,300円	
			昼夜間	1,900円	
			全日	2,500円	
アリーナ	入場料の類を徴収しない場合		昼間	18,500円	
			夜間	18,500円	
			昼夜間	27,800円	
			全日	37,000円	
	入場料の類を徴収する場合	入場料の類の最高額が500円以下のとき	昼間	18,500円	
			夜間	18,500円	
			昼夜間	27,800円	
			全日	37,000円	
		入場料の類の最高額が500円を超え2,000円以下のとき	昼間	37,000円	
			夜間	37,000円	
			昼夜間	55,600円	
			全日	74,000円	
	入場料の類の最高額が2,000円を超えるとき	昼間	74,000円		
		夜間	74,000円		
昼夜間		111,200円			
全日		148,000円			
特別控室		昼間	800円		
		夜間	800円		
		昼夜間	1,200円		
		全日	1,600円		

## ウ 研修室等

区分		使用料		備考	
		単位	金額		
研修室	染色研修室	個人使用	昼間	400円	(1) 「昼間」とは、午前10時から午後4時までをいう。 (2) 「夜間」とは、午後5時から午後11時までをいう。 (3) 「昼夜間」とは、午前10時から午後11時までをいう。 (4) 「全日」とは、午前10時から翌日の午前9時までをいう。 (5) 使用者が当該施設の使用を中断することなく、更に継続して使用する場合の全日とは、午前10時から翌日の午前10時までをいう。 (6) 市長が時間区分を超過し、又は繰り上げて使用することを認めた場合は、当該超過又は繰上時間1時間につき、当該施設の昼間使用の場合の1時間当たりの使用料を2割増した額を加算する。 (7) アトリエ又はロッジを継続して8日以上全日使用する場合の使用料は、当該使用期間のうち8日目以降14日目までの期間にあっては、アトリエについては1日につき3,600円、ロッジについては1日につき2,200円とし、15日目以降の期間にあっては、アトリエについては1日につき2,700円、ロッジについては1日につき1,600円とする。 (8) 備付物件の使用料は、市長が別に定める。 (9) アトリエ及びロッジの暖房等に係る経費並びに備付物件以外の電気器具その他の機械器具を使用した場合の経費は、市長が定めるところにより、その実費相当額を徴収する。 (10) 使用時間が単位時間に満たない場合であっても、当該単位時間どおり使用したものとみなす。
			夜間	400円	
			昼夜間	530円	
		専用使用	昼間	1,600円	
			夜間	1,600円	
			昼夜間	2,100円	
	陶芸研修室	個人使用	昼間	400円	
			夜間	400円	
			昼夜間	520円	
		専用使用	昼間	2,400円	
			夜間	2,400円	
			昼夜間	3,100円	
	木工研修室	個人使用	昼間	300円	
			夜間	300円	
			昼夜間	390円	
		専用使用	昼間	2,400円	
			夜間	2,400円	
			昼夜間	3,100円	
	織研修室	個人使用	昼間	250円	
			夜間	250円	
昼夜間			330円		
専用使用		昼間	3,000円		
		夜間	3,000円		
		昼夜間	3,900円		
版画研修室	個人使用	昼間	320円		
		夜間	320円		
		昼夜間	420円		
	専用使用	昼間	3,200円		
		夜間	3,200円		
		昼夜間	4,200円		
登り窯研修室		1日につき	5,100円		
汎用陶芸窯研修室		1室1日につき	1,100円		

## エ アトリエ・ロッジ・駐車場

区分		使用料	
		単位	金額
絵画アトリエA 絵画アトリエB 多目的アトリエ	1棟につき	昼間	2,700円
		夜間	2,700円
		昼夜間	3,600円
		全日	5,300円
ロッジ	1棟につき	昼間	1,600円
		夜間	1,600円
		昼夜間	2,200円
		全日	3,200円
駐車場	大型自動車	1両1回につき	1,200円
	普通自動車		500円
	回数券使用	普通自動車	回数券6枚つづり

### (3) 利用状況

#### ア 入園・入館者数

(単位：人)

	総入園者数	野外美術館	佐藤忠良記念 子どもアトリエ	芸術の森 美術館	工芸館	有島武郎旧邸
平成28年度	501,562	51,616	16,906	202,915	80,262	14,596
平成29年度	433,044	89,552	32,839	93,926	92,565	15,700
平成30年度	351,955	55,938	18,690	93,239	60,725	10,961
令和元年度	607,759	79,299	25,051	247,096	132,911	14,790
令和2年度	434,520	61,246	17,399	177,066	124,522	11,007

#### イ 野外ステージ及びアートホール内施設利用状況

	野外ステージ			アリーナ			大練習室		
	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)
平成28年度	19.6	37	18,343	63.7	225	20,830	49.0	173	9,529
平成29年度	19.6	37	18,040	64.9	231	19,100	50.3	176	8,579
平成30年度	20.2	36	20,426	66.4	223	18,129	52.9	173	8,498
令和元年度	20.9	39	26,419	58.5	196	13,876	48.8	165	6,736
令和2年度	16.4	25	2,443	65.2	194	10,715	48.6	142	4,257

	中練習室			小練習室(1~6)			ピアノ練習室		
	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)	利用率 (%)	延利用件数 (件)	延利用人数 (人)	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)
平成28年度	64.7	272	4,211	48.6	1,054	5,431	94.1	461	1,298
平成29年度	69.2	293	4,692	52.2	1,168	8,923	94.5	453	1,611
平成30年度	61.3	246	3,578	50.9	1,073	6,070	95.7	444	1,080
令和元年度	57.2	222	2,771	45.8	976	5,491	88.6	405	1,047
令和2年度	58.9	198	1,996	32.4	601	2,359	92.7	417	775

#### ウ 工房等施設利用状況

	染色研修室			織研修室			木工研修室		
	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)
平成28年度	61.4	245	1,131	71.0	570	1,216	99.7	1,293	1,664
平成29年度	68.4	279	1,379	79.7	716	1,523	99.1	1,337	1,607
平成30年度	63.5	251	880	87.3	832	1,481	99.4	1,361	1,688
令和元年度	63.6	217	674	65.0	305	569	100.0	1,443	1,713
令和2年度	31.8	116	144	35.9	104	148	99.6	941	1,021

	陶芸研修室			版画研修室		
	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)
平成27年度	99.7	1,903	3,111	96.8	778	1,343
平成28年度	99.4	1,876	1,876	98.1	990	1,588
平成29年度	97.8	1,711	1,711	97.5	892	1,482
平成30年度	97.2	1,172	1,172	98.4	1,004	1,420
令和元年度	96.6	1,317	1,317	98.0	1,141	1,488
令和2年度	94.3	877	874	98.3	728	861

## エ アトリエ・ロジック利用状況

	絵画アトリエA・B			ロジック			多目的アトリエ		
	利用率 (%)	延利用件数 (件)	延利用人数 (人)	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)
平成28年度	28.4	193	1,100	45.5	155	637	21.2	73	553
平成29年度	27.4	188	1,532	31.2	106	847	16.7	57	442
平成30年度	25.3	126	1,205	34.7	113	937	21.2	70	545
令和元年度	31.5	212	1,723	29.1	96	847	21.3	70	591
令和2年度	15.0	78	449	14.6	38	171	10.6	28	126

## (4) 事業概要

### ア 音楽・舞台芸術事業

事業内容	開催期間	入場者数等	摘要
(ア) 札幌の文化芸術発信事業			
サッポロ・シティ・ジャズ2020	通年 夏 2. 8. 1-15 秋 2. 10. 2-7 冬 2. 12. 10-11	19,791 人	一部事業を オンライン 配信に切り 替えて実施
(イ) 次世代の文化芸術の担い手の育成・支援事業			
第21期札幌ジュニア・ジャズスクール	通年	52 人	参加者数
(ウ) 芸術文化を通じた市民活動の促進			
パークジャズライブ	(配信) 2. 8. 1-9	34,618 回	アクセス数
ジャズセーバーズ	2. 5. 30-11. 30	207 人	活動人数
芸森アートマーケット	2. 7. 25ほか2回	1,153 人	入場者数
(エ) 質の高い文化芸術の創造・提供事業			
ビッグバンドプロジェクト定期演奏会	2. 12. 10-11	281 人	入場者数
(オ) 各種団体との連携による文化芸術の振興			
各種団体共催・施設利用促進事業	—	1,511 人	入場者数

### イ 芸術の森美術館事業

事業内容	開催期間	入場者数等
(ア) 展覧会事業		
みんなのミュシャ ミュシャからマンガへー線の魔術	2. 1. 25-4. 12 ※2. 2. 29-3. 31 臨時休館 ※2. 4. 6 特別開館	17,316 人
蜷川実花展 ー虚構と現実の間ー	2. 6. 1-8. 23	39,454 人
ムーミン展 THE ART AND THE STORY	2. 9. 12-11. 3	63,827 人
札幌ミュージアム・アート・フェア2020-21	2. 12. 19-3. 2. 14	3,614 人
札幌美術展 アフターダーク	3. 2. 27-4. 11	2,728 人
札幌芸術の森美術館コレクション選 北海憧憬	2. 6. 1-8. 23	23,544 人
開館30周年記念 ポスターで振り返る札幌芸術の森美術館	2. 9. 12-11. 3	35,998 人
札幌芸術の森美術館コレクション選 新収蔵作品展	3. 2. 27-4. 11	2,363 人
SIAF ふむふむルーム	2. 6. 1-8. 23	49,323 人
(イ) 野外美術館		
ボランティアによる作品解説及び鑑賞サポート	2. 4. 25-11. 3 ※2. 4. 25-6. 21 休止	—
彫刻鑑賞ノート、野外美術館シールマップ	通年	200 冊
芸森かんじきウォーク	3. 1. 19-3. 14	1,539 人
(ウ) 教育普及事業		
佐藤忠良子どもアトリエワークショップ	通年	294 人

子どもの文化芸術体験事業 ハロー！ミュージアム	2. 6. 18-3. 2. 12	7,409 人
(エ) 利用促進		
ミュージアムショップ運営	通年	—
(オ) 人材育成		
博物館実習生受入	2. 10. 13-16、19-20	5 人
ボランティア受入	通年	90 人

## ウ 工芸・工房事業

事業内容	開催期間	入場者数等
(ア) 展覧会事業		
第 26 回芸術の森地区文化祭	2. 11. 7-8	433 人
第 20 期工芸館常設展示事業	2. 6. 1-11. 3	—
(イ) 普及事業		
講習会事業 (延実施回数：8 回)	通年	53 人

## エ 利用促進

事業内容	開催期間	入場者数等
(ア) 広報活動		
ホームページ、SNS の活用	—	—
ニュースリリース「今週の芸森。」	—	—
(イ) 四季を通じた集客・施設開放事業の実施		
野外美術館謎解きイベント「ねんどくんの謎解き大冒険」	2. 7. 23-11. 3	10,318 人
芸森バースデー 2020	2. 7. 25	333 人
0 さいからのげいじゅつのもり いっしょにあるこう野外美術館	2. 9. 25-28	31 人
芸森秋のスペシャルウィーク	2. 10. 10-11、15-18	755 人
あしたのげいもり	2. 10. 10	342 人
冬空芸術かんじき歩行	3. 2. 4-7	10 人
野外美術館謎解きラリー ねんどくんのかんじき大冒険	3. 1. 9-3. 14	1,058 人
芸森フォトコンテスト	—	267 作品
(ウ) 札幌市立大学・芸術の森地区連合町内会等との地域連携		
(再掲) 第 26 回芸術の森地区文化祭	2. 11. 7-8	433 人
雪あかりの祭典	3. 2. 6	152 人
(エ) 各団体との事業連携		
(再掲) あしたのげいもり	2. 10. 10	342 人

## 2 札幌コンサートホール「Kitara」

札幌市の音楽文化の中核施設として平成9年7月4日にオープン。

楽器の生の音を最大限に引き出せるように音響設計された世界水準のコンサートホールであり、アリーナ型の大ホールとシューボックス型の小ホールの、2つの異なった個性のホールを備えている。

優れた音響環境での演奏会を楽しむことができるよう、全公演にチケットテイク、クローク、座席への案内等を専門に行うレセプションистを配置したことも特徴となっている。

「Kitara」の事業展開は「国内外の音楽家が集い、札幌から音楽を創造する空間」、「市民の教育の場としての空間」をコンセプトとしており、主催事業と貸館事業の2つの事業から構成されている。主催事業では国内外の一流アーティストを招き、世界水準の音楽との出会いの場となるような事業など、市民の幅広い期待に応えた事業を展開している。



### (1) 施設概要

所在地：中央区中島公園1番15号

電話：011-520-2000

F A X：011-520-1575

規模：建築面積：8,383 m<sup>2</sup>、延床面積：20,746 m<sup>2</sup>

開設：平成9年7月4日

総事業費：約191億円

建物構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階地上3階建

開館時間：午前9時～午後10時

休館日：毎月第1・3月曜日（当該日が祝日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）

### <施設内容>

施設名	面積 (m <sup>2</sup> )	備考
大ホール	2,241.86	客席数2,008席。アリーナ型ワインヤード方式。ステージ20m×13.5m。電動式の分割式オーケストラ迫りを設置。4管編成のフルオーケストラ（120人）まで対応可能。
小ホール	758.38	客席数453席。シューボックス型オープンステージ。ステージ14m×8.7m。室内楽から30人編成程度の小編成オーケストラの演奏まで対応可能。
大リハーサル室	292.50	公演時のリハーサルに使用するほか、合唱団等の控室としても対応可能。
小リハーサル室A	58.50	
小リハーサル室B	51.09	
楽屋	622.02	計19室、大ホール（13室）、小ホール（6室）。トイレ、シャワー、洗面台、クローゼット、化粧台等。
ギャラリー	52.80	札幌コンサートホールのパネル展示
ショップ	27.65	プレイガイド、コンサート及びクラシック音楽情報等の提供。
その他		レストラン、カフェコーナー、託児室、クロークなど



## (2) 施設の使用料

### ア ホール利用料金 ((7)+(イ)+(ウ))

#### (7) 施設利用料金

室名	区分	午前・午後 (9:00~16:00) ※( )内は土日祝	午後・夜間 (13:00~22:00) ※( )内は土日祝	全日 (9:00~22:00) ※( )内は土日祝
大ホール	全面を使用する場合	113,600 (136,400)	151,300 (181,600)	197,700 (237,200)
	合唱団席の部分以外を使用する場合	102,200 (122,600)	136,200 (163,400)	177,900 (213,500)
	3階客席の部分以外を使用する場合	90,800 (109,000)	121,000 (145,200)	158,200 (189,800)
	合唱団席及び3階客席の部分以外を使用する場合	79,600 (95,600)	106,000 (127,200)	138,400 (166,100)
	合唱団席及び2階左右客席の部分以外を使用する場合	79,600 (95,600)	106,000 (127,200)	138,400 (166,100)
室名	区分	午前 (9:00~12:00) ※( )内は土日祝	午後 (13:00~16:00) ※( )内は土日祝	夜間 (17:00~22:00) ※( )内は土日祝
大ホール	全面を使用する場合	56,800 (68,200)	56,800 (68,200)	94,500 (113,400)
	合唱団席の部分以外を使用する場合	51,100 (61,300)	51,100 (61,300)	85,100 (102,100)
	3階客席の部分以外を使用する場合	45,400 (54,500)	45,400 (54,500)	75,600 (90,700)
	合唱団席及び3階客席の部分以外を使用する場合	39,800 (47,800)	39,800 (47,800)	66,200 (79,400)
	合唱団席及び2階左右客席の部分以外を使用する場合	39,800 (47,800)	39,800 (47,800)	66,200 (79,400)
室名	区分	午前・午後 (9:00~16:00) ※( )内は土日祝	午後・夜間 (13:00~22:00) ※( )内は土日祝	全日 (9:00~22:00) ※( )内は土日祝
小ホール	全面を使用する場合	51,600 (73,000)	69,000 (97,500)	90,100 (127,200)
	2階客席の部分以外を使用する場合	38,800 (54,800)	51,800 (73,100)	67,600 (95,400)
室名	区分	午前 (9:00~12:00) ※( )内は土日祝	午後 (13:00~16:00) ※( )内は土日祝	夜間 (17:00~22:00) ※( )内は土日祝
小ホール	全面を使用する場合	25,800 (36,500)	25,800 (36,500)	43,200 (61,000)
	2階客席の部分以外を使用する場合	19,400 (27,400)	19,400 (27,400)	32,400 (45,700)

※ 入場料の類で、その最高額が2,000円を超え、4,000円以下のものを徴収する場合又は営利もしくは営業の目的で使用する場合は10割増とする。

※ 上記にかかわらず、入場料の類でその最高額が4,000円を超えるものを徴収する場合又は営利もしくは営業の目的で使用する場合は、催しへの入場の機会が住民に公平に与えられないときの使用料は20割増とする。

※ 小ホールにおいては、アマチュア等非営利の団体・個人の小ホールでの公演及び練習について、直前期間(利用日の前月10日から利用日の15日前まで)の申込みで、施設利用料金、舞台技術料金、レセプション料金等が割引となる直前割引制度がある。

#### (イ) 舞台技術料

室名	午前・午後 (9:00~16:00)	午後・夜間 (13:00~22:00)	全日 (9:00~22:00)	午前 (9:00~12:00)	午後 (13:00~16:00)	夜間 (17:00~22:00)
大ホール	62,400		75,000		53,100	
小ホール	41,600		50,000		35,400	

(ウ) レセプション料

室名	区分	夏期 (4/15～10/14)	冬期 (10/15～翌4/14)
大ホール	全面を使用する場合	113,800	150,200
	合唱団席の部分以外を使用する場合	104,700	141,100
	3階客席の部分以外を使用する場合	95,600	122,900
	合唱団席及び3階客席の部分以外を使用する場合	81,900	109,200
	合唱団席及び2階左右客席の部分以外を使用する場合	91,000	118,300
小ホール	全面を使用する場合	41,000	54,600
	2階客席の部分以外を使用する場合	27,300	36,400

イ リハーサル室料金

室名	区分	午前・午後 (9:00～16:00)	午後・夜間 (13:00～22:00)	全日 (9:00～22:00)
大リハーサル室	営利又は営業の目的で使わないとき	18,600	24,700	32,300
	営利又は営業の目的で使用する時	37,200	49,400	64,600
小リハーサル室A	営利又は営業の目的で使わないとき	3,600	4,900	6,400
	営利又は営業の目的で使用する時	7,200	9,800	12,800
小リハーサル室B	営利又は営業の目的で使わないとき	3,200	4,300	5,600
	営利又は営業の目的で使用する時	6,400	8,600	11,200
室名	区分	午前 (9:00～12:00)	午後 (13:00～16:00)	夜間 (17:00～22:00)
大リハーサル室	営利又は営業の目的で使わないとき	9,300	9,300	15,400
	営利又は営業の目的で使用する時	18,600	18,600	30,800
小リハーサル室A	営利又は営業の目的で使わないとき	1,800	1,800	3,100
	営利又は営業の目的で使用する時	3,600	3,600	6,200
小リハーサル室B	営利又は営業の目的で使わないとき	1,600	1,600	2,700
	営利又は営業の目的で使用する時	3,200	3,200	5,400

(3) 利用状況

ア 利用件数

室名	年度	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率(%)	利用件数(件)
大ホール	30年度	304	255	83.9	289
	令和元年度	312	242	77.6	271
	令和2年度	135	61	45.2	71
小ホール	30年度	303	218	71.9	238
	令和元年度	318	200	62.9	219
	令和2年度	141	38	27.0	44

イ 公演利用状況

室名	年度	貸 館		自 主		合 計	
		件数(件)	入場者数(人)	件数(件)	入場者数(人)	件数(件)	入場者数(人)
大ホール	30年度	172	259,194	25	33,811	197	293,005
	令和元年度	148	223,909	25	32,972	173	256,881
	令和2年度	39	23,219	3	1,885	42	25,104
小ホール	30年度	165	45,349	17	5,534	182	50,883
	令和元年度	146	39,497	18	5,288	164	44,785
	令和2年度	22	3,294	3	463	25	3,757
合 計	30年度	337	304,543	42	39,345	379	343,888
	令和元年度	294	263,406	43	38,260	337	301,666
	令和2年度	61	26,513	6	2,348	67	28,861
平成9年からのホール利用累計		7,765	7,517,712	1,112	938,100	8,877	8,455,812

#### (4) 事業概要

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため多くの事業を延期・中止することとなったが、感染拡大状況に応じ、Web配信を活用しながら、感染対策を徹底した上で事業を実施している。

##### ア 音楽鑑賞事業（音楽のすばらしさを「伝える」）

音楽専用ホールならではの優れた音響特性を活かし、市民からのニーズが高い、海外・日本のトップクラスのオーケストラ、ソリスト、室内楽等による魅力的な鑑賞事業を実施。

事業内容	開催期間	入場者数等
オーケストラ&合唱シリーズ	2.9.27	中止
ソリストシリーズ	2.9.6 ほか2日	中止（一部延期）
室内楽シリーズ	2.10.17 ほか2日	168人

##### イ 音楽普及事業（音楽を「広げる」）

札幌の貴重な音楽財産である札幌交響楽団、専属オルガニスト、地元の演奏家との協力により、市民が気軽に楽しめるコンサートや事業を実施し、音楽文化の普及を図った。

事業内容	開催期間	入場者数等
オルガン事業	2.6.6 ほか4日	369人 (一部配信有)
札幌交響楽団シリーズ	2.5.3 ほか2日	702人 (一部配信有)
Kitara ランチタイムコンサート	2.5.23 ほか2日	112人
地元音楽家の活動支援・地元音楽団体との連携事業	2.5.4 ほか1日	183人
ホール開放事業 Kitara あ・ら・かると	2.5.4 ほか2日	中止

##### ウ 教育・人材育成事業（音楽で人を「育む」）

音楽の力で子どもや青少年の感性を育むエデュケーションプログラムを実施するとともに、ホール機能を生かして世界トップレベルの音楽セミナーを企画。

事業内容	開催期間	入場者数等
エデュケーションプログラム	2.9.16 ほか9日	中止
アウトリーチ事業	2.7.10 ほか3日	350人
セミナー事業	3.3.5 ほか3日	中止
北海道教育大学、札幌大谷大学連携事業	2.5.4 ほか1日	中止

##### エ 全国ホール等とのネットワーク事業

交流協定都市や全国類似ホール等と広く情報交換しながら、共同で事業を企画制作するとともに、音楽家の招聘を行った。また、札幌コンサートホールが招聘する音楽家を他都市に紹介し公演を実施した。

事業内容	開催期間	入場者数等
ネットワーク事業	2.5.23 ほか7日	199人 (Web開催有)

##### オ 利用促進・PR活動の充実

###### (7) 公演広報

札幌コンサートホールを広く周知するため、コンサートスケジュール「KitaraNEWS」を年間5回発行するなど、様々な媒体を活用し積極的な広報活動を行った。

###### (4) 施設見学会

コンサートホールへの親しみや関心を喚起し、ホール利用を促進することを目的とした施設見学会や利用促進事業を企画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

## カ チケット等販売事業

札幌コンサートホールで行われる公演チケット等の対面販売、電話予約販売のほか、インターネット販売を行い、購入しやすい環境を整えた。

## キ Kitara ボランティアとの連携

札幌コンサートホールの支援組織である「Kitara ボランティア」との連携により、主催事業等の充実化やKitara のPR に取り組んだ。（令和3年3月現在の登録人数：84名）

## ク Kitara Club の運営

（令和3年3月31日現在）

会員種別	個人会員(人)				法人会員(団体)			
	個人	家族	ゴールド	合計	団体	維持	ゴールド	合計
登録人数・団体数	3,431	1,012	84	4,527	11	34	5	50

### 3 札幌市教育文化会館

本市における文化芸術及び教育活動の中心的な施設として、昭和52年7月に開館した。

施設は、客席1,100席で大迫り・小迫り・オペラカーテンなど高度な舞台機能を有する大ホール、客席360席の小ホール、各種研修室、練習室、リハーサル室、講堂のほか、平成23年3月には屋根や脇正面座席の新設、橋掛の延長を施した本格的な能舞台を整備している。

音楽、舞踊、演劇などの制作・発表の場として、また、各種会議や研修会などに利用されているほか、これらの機能を活かした自主事業も展開しており、文化芸術活動の拠点の一つとしての役割を担っている。

#### (1) 施設概要

所在地：中央区北1条西13丁目

電話：011-271-5821

F A X：011-271-1916

規模：敷地面積：11,929㎡、延床面積：16,372.06㎡

開館：昭和52年7月（大ホール 昭和55年10月）

建物構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上4階建

開館時間：午前8時45分～午後9時

休館日：毎月第2・4月曜日(当該月曜日が祝日の場合は翌日)

年末年始(12月29日～1月3日)



#### <施設内容>

施設名	面積 (㎡)	備考
大ホール	3,008	客席数1,100席(1階484席、2階616席)、楽屋7室
小ホール	990	客席数360席、楽屋3室
リハーサル室A	206	アップライトピアノ・鏡・バレエバー
リハーサル室B	87	鏡・バレエバー
練習室A	74	アップライトピアノ
練習室B	74	アップライトピアノ
研修室301	218	135席
研修室302	133	72席
研修室303	41	24席
研修室304	42	24席
研修室305	249	156席
研修室401	163	72席、アップライトピアノ
研修室402	128	54席
研修室403	204	84席
講堂	225	固定156席
ギャラリー	105	全周壁面長さ38m

## (2) 施設の使用料金

室名	午前 (9:00~12:00)	午後 (13:00~16:00)	夜間 (17:00~21:00)	全日 (9:00~21:00)
	※ ( ) 内は土日祝	※ ( ) 内は土日祝	※ ( ) 内は土日祝	※ ( ) 内は土日祝
大ホール	60,900円	60,900円	81,300円	193,900円
	(75,700円)	(75,700円)	(101,600円)	(240,000円)
小ホール	27,700円	27,700円	36,900円	86,800円
	(33,200円)	(33,200円)	(44,400円)	(105,300円)
リハーサル室A	6,400円	6,400円	8,500円	20,100円
リハーサル室B	2,900円	2,900円	3,700円	8,500円
練習室A	2,200円	2,200円	3,100円	7,200円
練習室B	2,200円	2,200円	3,100円	7,200円
研修室301	6,400円	6,400円	8,500円	20,100円
研修室302	4,300円	4,300円	5,400円	13,100円
研修室303	1,300円	1,300円	1,700円	4,000円
研修室304	1,300円	1,300円	1,700円	4,000円
研修室305	7,900円	7,900円	10,800円	25,200円
研修室401	5,300円	5,300円	6,800円	16,100円
研修室402	3,800円	3,800円	5,300円	12,200円
研修室403	6,100円	6,100円	8,400円	19,400円
講堂	6,800円	6,800円	9,000円	21,200円
ギャラリー	営利又は営業以外の目的で使用する場合			7,000円
	営利又は営業の	美術に関する催物を行う場合		28,000円
	目的で使用する場合	美術に関する催物以外を行う場合		31,500円

### ※ 割増料金

入場料にかかわらず、営利団体の利用や営業の目的で利用する場合は10割増とする。

非営利団体の利用又は非営利目的で利用する場合でも、入場料等の額（入場料等に段階があるときは、その最高額とする。）が2,000円を超え4,000円以下のもの（大ホールにあつては、1,800円を超え3,500円以下のもの）を徴収する場合は10割増とする。

上記にかかわらず、入場料等の額が4,000円を超えるもの（大ホールにあつては3,500円を超えるもの）を徴収する場合の使用料は、20割増とする。

### ※ 小ホールの練習限定割引料金

申込日から60日先までの空き日については、コーラス・舞踊・演劇等の練習に限定し、リハーサル室Aと同額の料金で利用できる（条件等あり）。

## (3) 利用状況

### ア 利用件数

室名	年度	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率(%)	利用件数(件)
大ホール	平成30年度	310	251	81.0	263
	令和元年度	297	209	70.4	230
	令和2年度	268	111	41.4	117
小ホール	平成30年度	316	249	78.8	284
	令和元年度	299	237	79.3	279
	令和2年度	270	133	49.3	149

#### イ 内容別利用状況（件）

年 度	邦楽	洋楽	演劇	邦舞	洋舞	合唱	古典	映画	会議	研修	その他	合計
平成30年度	82	238	298	120	312	87	51	9	878	1,164	1,267	4,506
令和元年度	72	202	276	150	328	91	51	14	738	938	1,401	4,261
令和2年度	15	109	118	27	146	15	27	5	431	600	554	2,047

#### ウ 総利用者数（人）

年 度	入場者数
平成30年度	587,577
令和元年度	539,904
令和2年度	123,761

### (4) 事業概要

#### ア 良質で多彩な舞台芸術作品の鑑賞機会の提供

事業内容	開催期間	会場	入場者数
松竹大歌舞伎	2.5.6	大ホール	中止
人形浄瑠璃文楽	2.10.5	大ホール	486人
教文伝統芸能シリーズ「能楽なう」公演	2.9.2	大ホール	中止
教文伝統芸能シリーズ「能楽なう」公演代替コンテンツ「ぬりえでござる～ぬりぬりぬり～」 「ぬりえでござる～能を彩る～」 (教文たまたまばこ)	2.7.31-	配信	—
文楽のいろは 公演	2.5.2	小ホール	中止
文楽のいろは 公演代替コンテンツ「人間国宝が語る文楽人形」 (教文たまたまばこ)	2.10.11-	配信	—
真夏の夜の夢	2.11.27	大ホール	372人

#### イ 札幌の舞台芸術の創造・発表事業

事業内容	開催期間	会場	入場者数
【教文演劇フェスティバル2020】 教文演劇フェスティバル2019 短編演劇祭優勝記念 公演「その鱗夜にこぼれて」	3.3.3-4	小ホール	184人
教文オペラプログラム 歌劇「ノンノ」	2.8.23	大ホール	中止
教文オペラプログラム LC アルモーニカ「アドリアーナ・ルクヴルール」	3.1.17	小ホール	中止
教文オペラファミリープログラム ママと子どものはじめての音楽会～こんにちは！ オペラ～	2.6.17	小ホール	中止
教文オペラファミリープログラム ちいさな人の読み聞かせオペラ「スイミー」	2.8.18	小ホール	中止
教文オペラ 歌のお届けコンサートプログラム	2.9.23 2.11.6	小野幌小 札幌小	593人 130人

## ウ 文化施設、文化団体、文化芸術 NPO との協働事業

事業内容	開催期間	会場	入場者数
能楽鑑賞のひとつとき	2. 8. 5	大ホール	178 人
人形演劇フェスティバル 2021 年さっぽろ冬の祭典	3. 2. 13-14	小ホール	565 人
さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座二十五周年記念 公演 人形浄瑠璃 2021	3. 2. 27-28	大ホール	632 人
子ども舞踊際 Junior Festival (令和元年度順延分)	2. 4. 29	大ホール	中止
子ども舞踊際 Junior Festival	3. 3. 26	大ホール	941 人

## エ 子どもたちのための文化芸術活動の支援事業

事業内容	開催期間	会場	入場者数
子ども演劇ワークショップ	3. 1. 30-31	小ホール	17 人
小・中学生のための能楽入門ワークショップ	2. 7. 28-29	研修室 401	中止
小中学生のための能楽入門ワークショップ代替 コンテンツ「教文能舞台ができるまで」(教文たまたま ばこ)	3. 1. 20-	配信	—
夏休み子ども体験新喜劇 ワorkshop	2. 7. 31-8. 2	研修室 401	中止
夏休み子ども体験新喜劇代替コンテンツ「砂川先生 からのメッセージ」(教文たまたまばこ)	2. 8. 18-	配信	—

## オ 市民と文化芸術をつなぐ人材の育成・支援事業

事業内容	開催期間	会場	入場者数
教文 13 丁目笑劇一座 (稽古・講座)	2. 7. 1-3. 3. 31	研修室 304 ほか	52 人
ダンスワークショップ	2. 5. 1-	—	中止
ダンスワークショップ代替コンテンツ「ダンス オンライントーク」(教文たまたまばこ)	2. 7. 3-	配信	—

## カ 学校教育における芸術文化活動の支援事業

事業内容	開催期間	会場	入場者数
第 38 回札幌市小学校児童音楽祭	3. 2. 6	大ホール	中止
第 72 回札幌市中学校音楽会	2. 9. 30、10. 25	大ホール	1, 635 人
第 66 回高文連石狩支部演奏会	2. 6. 18-19	大ホール	中止
中文連演劇ワークショップ 2020	2. 8. 1-2	小ホールほか	189 人
第 35 回札幌市中文連演劇発表会	-	-	-
第 70 回高文連石狩支部高校演劇発表大会	2. 10. 15-21	小ホール	3, 094 人
第 15 回北海道中学生演劇発表大会	2. 11. 22	小ホール	90 人

※第 35 回札幌市中文連演劇発表会は別会場で実施

## キ 将来の文化芸術活動を活性化させるための情報の収集・提供事業

公立文化施設等とのネットワークを活用した情報収集、メディアの活用、主催事業におけるアンケート実施。



## ク 広報活動

- ・情報誌の発行：情報誌「楽」（年3回15,000部）、リーフレット「act」（年3回15,000部）
- ・ホームページによる広報：令和2年度アクセス数：511,671件
- ・教文☆ナビは感染拡大防止のため中止

## 4 札幌市民ギャラリー

文化芸術活動の促進を目的に、各種展覧会の拠点的会場として開館。

美術・書道の公募展や学生の作品展など、様々な展覧会の会場として利用されているほか、美術映画会などの主催事業も開催している。

### (1) 施設概要

所在地：中央区南2条東6丁目

電話：011-271-5471

F A X：011-232-5539

規模：敷地面積：2,678.13㎡

延床面積：4,189.10㎡

開館：昭和57年2月28日

開館時間：午前8時45分～午後9時

休館日：月曜日（当該日が祝日の場合は開館）、

年末年始（12月29日～1月3日）



札幌市民ギャラリー外観

### <展示室・展示ホール面積>

施設名	面積 (㎡)
第1展示室	265.5
第2展示室	200.0
第3展示室	208.0
第4展示室	200.0
第5展示室	204.0
予備展示室	63.5
展示ホール1	141.0
展示ホール2	72.0



札幌市民ギャラリー第2展示室

### (2) 施設の使用料金

種別	単位	美術作品の展覧会又は展示会を行う場合		その他の展覧会等の催物で営利営業を目的とするものを行うもの	
		展示作品の販売を行わないもの	展示作品の販売を行うもの		
第1展示室	1日につき	15,500円	62,000円	70,500円	
第2展示室から第5展示室まで1展示室につき	A室	2,900円	14,500円	11,300円	12,700円
	B室	2,900円		11,300円	12,700円
	C室	2,900円		11,300円	12,700円
	D室	2,900円		11,300円	12,700円
	E室	2,900円		11,300円	12,700円
予備展示室	1日につき	4,200円	14,100円	16,900円	
展示ホール1	1日につき	3,100円	12,800円	14,600円	
展示ホール2	1日につき	2,100円	8,500円	9,600円	

### (3) 利用状況

#### ア 展示室別利用率 (%)

年 度	第1展示室	第2展示室	第3展示室	第4展示室	第5展示室	展示ホール1	展示ホール2	予備展示室	合 計
平成 30 年度	87.1	87.1	87.1	81.6	77.3	69.3	75.4	51.8	77.1
令和元年度	85.8	83.0	78.9	76.7	75.8	75.2	74.8	38.7	73.6
令和 2 年度	43.9	38.7	37.9	34.6	27.5	39.4	39.4	25.3	35.8

#### イ 内容別展示室等の利用状況 (件)

年 度	絵画	工芸	彫刻	版画	陶芸	書道	華道	写真	その他	合計
平成 30 年度	632	104	49	45	63	669	5	83	255	1,905
令和元年度	652	121	59	35	58	636	0	67	245	1,873
令和 2 年度	70	13	6	3	15	517	0	10	137	771

#### ウ 入場者数 (人)

年 度	入場者数
平成 30 年度	138,313
令和元年度	115,454
令和 2 年度	38,225

※新型コロナウイルス感染症の影響により、R2. 4. 14～R2. 5. 31 休館

### (4) 事業概要

事業内容	開催期間	入場者数
市民ギャラリー美術映画会 気軽にアートの世界に親んでもらうため、昭和 59 年から毎年実施している。 〔上映内容〕「新日曜美術館 日本の美術」シリーズ	①2. 4. 8 ②2. 7. 29 ③2. 8. 14 ④2. 9. 30 ⑤2. 10. 7 ⑥3. 1. 14 ⑦3. 2. 12 ⑧3. 3. 11	339 人
チェンバロコンサート	2. 4. 25	中止
市民ギャラリー手作り作品市場	2. 5. 16	中止
カルチャーナイト 2020 オンライン開催～星降る夜の招待状～	2. 7. 17-19	再生回数 300 回
夏休みおえかきワークショップ(市民ギャラリーワークショップ)	2. 8. 15-16	201 人
「冬休み出張教室 from 職人力展」&おえかきワークショップ(市民ギャラリーワークショップ)	3. 1. 17	58 人
教文 13 丁目笑劇一座出張公演	2. 11. 23	中止
市民ギャラリーウインターコンサート(動画公開)	2. 12. 12	再生回数 549 回
書! パフォーマンス～大きな筆で字を書こう!	3. 1. 9	275 人
冬休み子ども映画会	3. 1. 16	22 人
春休み子ども映画会	3. 3. 28	52 人
第 66 回高文連石狩支部美術・書道展	2. 8. 4-6	608 人
第 64 回札幌市中学校美術・書道展	2. 11. 11-15	中止
中央区東地区連合町内会コンサート	2. 12. 18	中止
札幌圏大学生合同写真展 EX 17 <sup>th</sup>	3. 3. 3-7	中止

## 5 本郷新記念札幌彫刻美術館

本市ゆかりの彫刻家 故・本郷新氏の作品を収蔵・展示する美術館として、昭和56年6月29日に開館。平成19年4月1日から本市の公の施設となった。

記念館（旧アトリエ）と本館からなり、彫刻を中心とした美術文化の振興に寄与することを目的として、収蔵作品による常設展のほか、近年においては積極的に特別展や各種美術講座を開催している。



### (1) 施設概要

所在地：中央区宮の森4条12丁目

電話番号：011-642-5709 FAX：011-642-5720

開館時間：午前10時～午後5時

休館日：月曜日（当該日が祝日等の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）、

※展示替え等のため臨時休館あり

建物構造：（本館・記念館）鉄筋コンクリート造2階建

敷地面積：（本館）1,165.88㎡（記念館）1,165.35㎡

延床面積：（本館）374.10㎡（記念館）437.07㎡

### <施設内容>

展示室等		床面積（㎡）
本館	展示室1	28.50
	展示室2	64.80
	展示室3	25.01
	展示室4	25.65
	展示室5	9.36
	ギャラリー	40.50
	研修室	45.65
記念館	展示室1	51.34
	展示室2	45.36
	展示室3	35.28
	展示室4	32.38
	展示室5	31.50

### <収蔵作品数>

（令和3年3月31日現在）

技法的区分	点数	取得方法			
		寄贈	寄託	新規	
彫刻	ブロンズ	154	141	1	12
	コンクリート	3	2	1	0
	樹脂	4	3	1	0
	木	14	14	0	0
	石	10	9	1	0
	石膏	365	163	202	0
	テラコッタ	64	57	7	0
	レリーフ	50	34	16	0
	その他	5	5	0	0
	油彩	126	108	18	0
素描	985	122	863	0	
版画	93	37	56	0	
画皿	6	5	1	0	
書	6	6	0	0	
合計	1,885	706	1,167	12	

(2) 施設の使用料

ア 観覧料の額

区分	観覧料				備考	
	単位			金額		
				本館及び記念館 で実施する場合		記念館のみで実 施する場合
常設展	個人	一般	1人1回につ き	300円	200円	中学生、小学 生及び小学校 入学前の者 は、無料とす る。
		高校生、大学生及び これらに準ずる者		200円	100円	
		65歳以上		250円	150円	
	団体 (10人 以上)	一般		250円	150円	
		高校生、大学生及び これらに準ずる者		100円	50円	
		65歳以上		200円	120円	
特別展	個人		1,500円の範囲内でその都度市長が 定める額			
	団体(10人以上)					

イ 本館展示室、本館研修室の使用料の額

区分	使用料			金額	備考	
	単位					
本館展示室、 本館研修室	両方を使用 する場合	営利又は営業以外の目的で 使用する場合		1日につ き	10,000円	(1) この表において「1日」とは、 開館時間をいう。 (2) 市長が彫刻美術館の管理運営 上支障がないと認めた場合は、開 館時間を超過し、又は繰り上げて 使用することができる。この場合 の使用料は、超過し、又は繰り上 げた時間1時間までごとにつき、 この表におけるそれぞれの使用 料の1時間当たりの額を3割増 した額を加算する。 (3) 使用料の額に10円未満の端数 が生じたときは、これを切り捨 てる。 (4) 備付物件使用料は別に定める。 (5) 使用時間が単位時間に満たな い場合であっても、当該単位時間 どおり使用したものとみなす。
		営利又は 営業の目 的で使用 する場合	美術に関する催 物を行う場合		40,000円	
			上記以外の場合		45,000円	
	本館研 修室の みを使用 する場合	営利又は営業以外の目的で 使用する場合		1時間 につき	800円	
		営利又は 営業の目 的で使用 する場合	美術に関する催 物を行う場合		3,200円	
			上記以外の場合		3,600円	
展示ス ペース 本館屋 外	営利又は営業以外の目的で使用する場 合		1日につ き	5,000円		
	営利又は営業の 目的で使用する 場合	美術に関する催物 を行う場合		20,000円		
		上記以外の場合		22,500円		

(3) 利用状況

年 度	総入場者数 (本館)
平成28年度	9,579人
平成29年度	9,993人
平成30年度	10,359人
令和元年度	9,226人
令和2年度	10,863人

#### (4) 事業概要

##### ア 展覧会事業

事業内容	開催期間	入場者数等
◆特別展		
わくわく★アートスクール2020 作品展 ファンタジー×リアリティ	2. 6. 27-7. 16	429 人
舟越桂展～言葉の森～	2. 7. 23-9. 27	2,578 人
札幌ミュージアム・アート・フェア 2020-21	2. 12. 19-3. 2. 14	1,415 人
さっぽろ雪像彫刻展 2021	3. 1. 29-1. 31	695 人
◆コレクション展		
本郷新の歩みと芸術	31. 4. 6-2. 4. 22	6,172 人
所蔵品展	2. 2. 20-6. 21	170 人
東京 2020 公認プログラム 本郷新のレガシー 【五輪大橋と花束】	2. 4. 29-9. 27	5,192 人
没後 40 年記念 本郷新・全部展	2. 10. 3-12. 6 (本館) 2. 10. 3-3. 4. 22 (記念館)	2,783 人

※2. 2. 29-3. 31 臨時休館、※2. 4. 14-5. 24 臨時休館

##### イ 貸館事業

事業内容	開催期間	入場者数等
いけばな伝統文化宮の森教室発表会	2. 10. 24-25	63 人
グループ展「雪のあと・形のさき」～彫刻美術館と白い季節の仲間たち～	3. 3. 4-14	382 人

##### ウ 普及事業

事業内容	開催期間	入場者数等
子どもの美術体験事業 ハロー！ミュージアム	2. 8. 26-12. 10	958 人
彫美連続講座 2020	2. 8. 8 ほか3 日	224 人
美術館めぐり	2. 9. 16 ほか2 日	36 人
造形教室	2. 8. 12 ほか2 日	29 人

##### エ 協力事業

事業内容	開催期間	入場者数等
学校教育への協力	3. 2. 20-23	70 人
ボランティアの受入	—	107 人

##### オ 利用促進

事業内容	開催期間	入場者数等
サンクスデー (1 回目)	2. 6. 28	59 人
さあ！まわろう SAPPORO～見どころ施設無料月間～	2. 8. 1-31	3,664 人
サンクスデー (2 回目)	2. 11. 3	136 人
図書・情報コーナー	—	208 人

### カ 第3回本郷新記念札幌彫刻賞

本郷新の功績を記念するとともに、若手作家の育成を願った本郷の遺志を受け、50歳未満の若い彫刻家を対象に、優れた彫刻作品に「本郷新記念札幌彫刻賞」を贈る事業。受賞作は、札幌市中心部の公共空間「大通交流拠点地下広場」に約3年間設置される。また、本郷新記念札幌彫刻美術館において、受賞作家の個展を開催する。

- ・二次選考会日程：令和2年6月7日
- ・二次選考会会場：本郷新記念札幌彫刻美術館 本館 研修室
- ・選考委員：酒井忠康、建畠哲、植松奎二、阿部典英、佐藤友哉、寺嶋弘道
- ・受賞者：高橋喜代史
- ・受賞作品：ザブーン
- ・入選作品展期間：令和2年6月9日～9月27日
- ・会場：本郷新記念札幌彫刻美術館 本館 ロビー
- ・入場者数：3,413人
- ・出品作家：岡田健太郎、高橋喜代史、田村純也、藤沢レオ、藤原千也
- ・授賞式日程：令和2年7月16日
- ・会場：札幌市庁舎 市長会議室
- ・除幕式日程：令和3年2月2日
- ・会場：大通交流拠点地下広場

## 6 札幌市民交流プラザ

本市における多様な文化芸術の中心的な拠点であるとともに、仕事に役立ち、暮らしをサポートする情報提供を行い、それらを通して多くの人が交流することを目的として整備し、平成30年10月7日に供用を開始。

本施設は、「札幌文化芸術劇場 hitaru」、「札幌文化芸術交流センターSCARTS」、「札幌市図書・情報館」からなり、札幌創世1.1.1区北1西1地区市街地再開発事業の一環として建設された、放送局やオフィス、公共駐輪場、駐車場などの施設も入居する複合施設「さっぽろ創世スクエア」の一部である。



さっぽろ創世スクエア外観  
低層部分が札幌市民交流プラザ

### (1) 施設概要

所在地：中央区北1条西1丁目

規模：敷地面積：11,676㎡

延床面積：37,332㎡

#### <施設内容>

#### ア 札幌文化芸術劇場 hitaru (3階～9階)

ホール (2,302席)、クリエイティブスタジオ (448㎡)、  
中小練習室、控室

#### イ 札幌文化芸術交流センターSCARTS (1階・2階)

SCARTS スタジオ (82㎡×2)、SCARTS コート (165㎡)、  
SCARTS ミーティングルーム (36㎡×2)、SCARTS モール (60㎡×3)

#### ウ 札幌市図書・情報館 (1階・2階)

レファレンスカウンター、ミーティングルーム、  
コワーキングスペース、データベースコーナー

#### エ その他

カフェ、レストランなど



左上：札幌文化芸術劇場 hitaru  
ホール客席

右上：札幌文化芸術交流センターSCARTS  
SCARTS スタジオ

左：札幌市図書・情報館



(2) 令和2年度札幌文化芸術劇場 hitaru 事業概要

ア 創造事業

事業名	開催日	会場	入場者数
hitaru オペラプロジェクトプレ公演「蝶々夫人」	3. 2. 21	ホール	972 人

イ 鑑賞事業

事業名	開催日	会場	入場者数
ヨハン・シュトラウスⅡ世オペレッタ「こうもり」	2. 12. 13、15	ホール	1,084 人
新国立劇場バレエ団「眠れる森の美女」	2. 11. 14-15	ホール	2,573 人
hitaru のひととき～明和電機 ナンセンスマシーンコンサート～	3. 1. 31	ホール	698 人
hitaru のひととき～華麗なるディーヴァの競演～	3. 3. 11	ホール	699 人

ウ 普及・育成事業

事業名	開催日	会場	入場者数
チェルフィッチュの<映像演劇>「風景、世界、アクシデント、すべてこの部屋の外側の出来事」	2. 7. 14-8. 1	SCARTS コート	971 人
青少年向けバレエ鑑賞事業（配信）	2. 10. 1-31	YouTube	453 人
クリエイティブスタジオ シネマシリーズ 2 映画へと導く映画	2. 7. 18	クリエイティブスタジオ	185 人
クリエイティブスタジオ シネマシリーズ 3 映画へと導く映画	2. 9. 22	クリエイティブスタジオ	229 人
クリエイティブスタジオ シネマシリーズ 1 映画へと導く映画	2. 11. 3	クリエイティブスタジオ	453 人
地点「だれか、来る」	3. 1. 15-16	クリエイティブスタジオ	182 人
クリエイティブスタジオ All Sapporo Professional Actors Selection Vol.2「北緯43°のリア」	3. 2. 26-3. 5	クリエイティブスタジオ	1,386 人
Creative Opera Mix Vol.2 LOVE&TRAGEDY	3. 3. 13-14	クリエイティブスタジオ	240 人
札幌大谷大学・札幌文化芸術劇場 hitaru 連携事業 アートプログラム 2020 第1回 バレエ「眠れる森の美女」見どころ・聴きどころ	2. 11. 5	クリエイティブスタジオ	60 人
札幌大谷大学・札幌文化芸術劇場 hitaru 連携事業 アートプログラム 2020 第2回 オペレッタ「こうもり」見どころ・聴きどころ	2. 12. 3	クリエイティブスタジオ	73 人
「箱館戦争」シリーズ三部作一挙公演プロジェクト 北海道教育大学・実験劇場 第10回オペラ公演 マドリガーレ・オペラ「箱館戦争」三部作	3. 1. 6-8	クリエイティブスタジオ	116 人

## エ 交流事業

事業名	開催日	会場	入場者数
PLAZA FESTIVAL 2020 札幌爆音映画祭	2. 10. 2～3	クリエイティブスタジオ	313 人
PLAZA FESTIVAL 2020 HTB 市民交流プラザ劇場	2. 10. 5～7	クリエイティブスタジオ	105 人
PLAZA FESTIVAL 2020 「第2 マルバ会館 ○○な上映会」	2. 10. 2～7	SCARTS スタジオ	360 人
PLAZA FESTIVAL 2020 「細井美裕サウンドインスタレーション “Lenna”」	2. 10. 2～7	SCARTS モールC	2,600 人
PLAZA FESTIVAL 2020 「MORIHICO. Marché de GRENIER (マルシェ・ドウ・グルニエ) ×プラザマルシェ」	2. 10. 2～7	SCARTS モールA B	4,449 人

### (3) 令和2年度札幌文化芸術交流センターSCARTS 事業概要

#### ア 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

事業名	開催日	会場	入場者数
ことばのいばしょ	2. 8. 22～9. 22	SCARTS コートほか	6,576 人
参加型パフォーマンス「環 ROY—Fine Game」	2. 8. 22	SCARTS コート	35 人
折笠良アーティストトーク	2. 8. 22	SCARTS コート	25 人
小森春香＋瀬尾夏美アーティストトーク&ミニワークショップ	2. 8. 23	SCARTS モールC	12 人
三角みづ紀×吉田慎司「言葉と版画、本の森」トーク (YouTube 配信)	2. 9. 10～	SCARTS モールA B	無観客 Web 配信
SCARTS アートコミュニケーターによる鑑賞サポート	2. 9. 20	SCARTS コートほか	20 人
SCARTS ステージシリーズ vol.001 大学連携コンサート 北海道教育大学岩見沢校「日本の四季に耳を澄ませて」	2. 8. 4	SCARTS コート	46 人
SCARTS ステージシリーズ vol.002 沢則行「人形劇の惑星」	2. 10. 20	SCARTS コート	137 人
SCARTS ステージシリーズ vol.003 大学連携コンサート 札幌大谷大学「繋がる作曲家たち～西洋の風を運んで～」	2. 10. 26	SCARTS コート	117 人
SCARTS ステージシリーズ vol.004 鈴木明倫ダンス公演「Remember us」	3. 2. 25	SCARTS コート	65 人
++A&T SCARTS ART & TECHNOLOGY Project (プラプラット)	2. 10. 31～ 3. 4. 18	SCARTS コートほか	2,368 人
さっぽろアートステージ「キッズアートフェス」	2. 11. 7～15	SCARTS コートほか	1,925 人
Sapporo Winter Change 2021 Extreme Data Logger:都市と自然の記憶	3. 2. 5～14	SCARTS コートほか	1,937 人
西2丁目地下歩道映像制作 トークイベント	2. 11. 3	SCARTS コート	30 人

## イ 文化芸術活動支援事業

事業名	開催日	会場	入場者数
SCARTS オープンDAY	2. 4. 18～6. 14	SCARTS コートほか	66 人
SCARTS レクチャーシリーズ for Artist vol.3 「アートが無事に届けたい！アーティストのための美術梱包スキル講習」	2. 12. 13	SCARTS コート	50 人
アートコミュニケーション事業	2. 6. 7～ 3. 2. 28	SCARTS スタジオほ か	—
あなたと私のことばのセッション	2. 9. 21～22	SCARTS モールC	—
SIAF2020 ドキュメント、さっぽろウィンターチェンジ2020 鑑賞サポート	3. 2. 7～14	SCARTS コートほか	—
公募企画事業 中島洋 市民参加型アートプロジェクト「記憶のミライ」	2. 7. 11～20	SCARTS スタジオ	810 人
公募企画事業 祝祭・モーツァルト in 北海道2021	3. 3. 30～31	SCARTS コート	190 人

## ウ 文化芸術に関する調査研究事業

## 7 札幌市資料館（旧札幌控訴院）

大正 15 年に札幌控訴院（現在の高等裁判所）として建てられ、昭和 48 年 11 月 3 日、裁判所の移転に伴い札幌市資料館として開館。

札幌軟石を使用した建物として貴重であり、令和 2 年 12 月には国の重要文化財に指定された。

ミニギャラリーや研修室を貸室として市民が利用できるほか、様々な団体等と連携し、文化・芸術に関する催し等を実施している。



### (1) 施設概要

所在地	中央区大通西 13 丁目
電話番号	011-251-0731 FAX 011-271-5921
開館時間	午前 9 時～午後 7 時
休館日	月曜日（月曜日が祝休日の場合は翌平日） 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）
建物構造	レンガと軟石による組積造（そせきぞう） 一部鉄筋コンクリート造 2 階建
敷地面積	7120.40 m <sup>2</sup>
延床面積	1637.85 m <sup>2</sup>

### <施設内容>

展示室等	床面積 (m <sup>2</sup> )
ミニギャラリー1	83
ミニギャラリー2	38
ミニギャラリー3	35
ミニギャラリー4	37
ミニギャラリー5	37
ミニギャラリー6	35
研修室	110

### ア おおば比呂司記念室

札幌出身の漫画家・画家の故おおば比呂司氏の業績を讃え、平成 7 年 9 月設置。遺族より寄贈された原画 296 点や愛用の品等を常設展示。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
入場者数	20,856 人	23,340 人	20,951 人	18,750 人	7,454 人

※令和元年度は 3/1～3/31、令和 2 年度は 4/14～5/31 休室（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

### イ SIAF ラウンジ

札幌国際芸術祭（SIAF）に関する情報を発信するとともに、全国各地の芸術祭や文化・芸術関連のイベントを紹介するスペース。アート関連書籍を多数取り揃えており、カフェも併設。（「札幌国際芸術祭」15 ページ参照）

### ウ まちの歴史展示室

旧札幌控訴院や大通公園の歴史、文化等の概要を、パネルなどを用いて簡易に紹介。

### エ 刑事法廷展示室

控訴院時代の法廷を再現し、模擬裁判に活用するなど控訴院と司法の歴史を伝える場として使用。

### オ ミニギャラリー1～6

### カ 大通交流ギャラリー

控訴院時代に応接室だった部屋を大通公園が一望できる展望室として開放。

### キ 研修室



大通交流ギャラリー



刑事法廷展示室

## (2) 施設の利用料金

### ア ミニギャラリー

	利用料	
	1日当たり	6日間(火曜～日曜)
ミニギャラリー1	4,900円	29,400円
ミニギャラリー2	2,300円	13,800円
ミニギャラリー3・6	2,100円	12,600円
ミニギャラリー4・5	2,200円	13,200円

貸出利用期間は、火曜日から日曜日までの6日間を基準とする。

営利目的で利用する場合などは割増料金がかかる。

### イ 研修室

	貸出単位	利用料
研修室	午前(9:00～12:00)	3,400円
	午後(13:00～17:00)	4,500円
	全日(9:00～17:00)	7,900円

入場料等を徴収する場合、営利目的で利用する場合などは、割増料金がかかる。

## (3) 利用状況

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
入館者数(人)	142,919	163,024	140,839	129,170	58,423
研修室利用率(%)	44.6	51.1	51.1	41.9	26.6
ミニギャラリー利用率(%)	85.9	92.5	90.4	76.8	43.4

※令和元年度は3/1～3/31 一般観覧休止、令和2年度は4/14～5/31 休館(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

#### (4) 事業概要

##### ア 文化・芸術等に親しむ機会の提供

事業内容	実施月等	参加者数等
各種講座（ハーバリウム、切り絵、絵手紙、デインプルアート）	R2. 8, 10, 11, 12	延べ 89 人
子どもと大人の写生会	R2. 7	31 人
チェロ演奏会とチビツ子マジックショー	R2. 7	32 人
アンサンブル・リベラ・バロックコンサート	R2. 9	32 人
「札幌市文化団体協議会加盟団体」及び「ちえりあ」共催事業	R2. 7, 8, 9, 10, R3. 1	延べ 175 人

##### イ 札幌市資料館の沿革等に関する情報の収集及び提供

事業内容	実施月等	参加者数等
北大夢風景 今昔写真展	R2. 8	観覧自由
大通公園モニュメント鑑賞会	R2. 8	7 人
定鉄写真&資料展	R2. 11	観覧自由
カルチャートーク「定鉄電車で温泉へ…」	R2. 11	61 人
カルチャートーク「札幌市資料館保存活用の変遷と支える技術」とワークショップ「漆喰塗り体験」	R3. 3	34 人

##### ウ 市民等の自主的な活動の支援

事業内容	実施月等	参加者数等
大学生対象 模擬裁判	R2. 10	19 人
刑事裁判の傍聴と解説	R2. 8, 10	延べ 17 人
法律講座「残業問題について」	R2. 8	10 人
司法講座「交通事犯（あおり運転等）の実態」	R2. 10	19 人
子ども映画会と紙芝居	R3. 1	23 人
「雪像制作 DVD 放映」	R3. 2	観覧自由
「司法の手続きの流れパネル展（刑事事件の手続き）」	R3. 2	観覧自由

## 8 さっぽろ天神山アートスタジオ

札幌国際芸術祭 2014 の開催を契機に、旧天神山国際ハウス（平成 20 年閉鎖）を改修し、市内を始め国内外のアーティストが札幌に滞在しながら創作活動を行う「アーティスト・イン・レジデンス（※）」型のスタジオと、市民とアーティストが交流することができる機能を併せ持つ施設として、平成 26 年 5 月 31 日に開館。



アーティストが創造的活動を行う場を提供しながら、その活動を支援するとともに、市民がアーティストと交流し、アートの視点や表現に触れることを通じて創造性を高め、自ら地域の魅力や資源を再発見することで、地域の活性化に繋げることを目指している。

（※）アーティスト・イン・レジデンス：アーティストの滞在型創造的活動、またその活動を支援するシステム。創造的活動を行う者の移動を促進し、活動の活性化やキャリア構築を図るもの。

### (1) 施設概要

所在地：豊平区平岸 2 条 17 丁目  
 電話番号：011-820-2140  
 F A X：011-820-2142  
 開館時間：午前 8 時 45 分～午後 9 時  
 休館日：月曜日（月曜日が祝日等の場合は翌平日）  
 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）  
 建物構造：鉄筋コンクリート造 地上 3 階地下 1 階建  
 延床面積：1668.88 m<sup>2</sup>

### <施設内容>

展示室等	床面積 (m <sup>2</sup> )	備考
滞在スタジオ A	19	6 室
滞在スタジオ B	53	6 室
滞在スタジオ C	73	1 室
交流スタジオ A	72	
交流スタジオ B	71	
交流スタジオ C	60	



### (2) 施設の利用料金

#### ア 滞在スタジオ

スタジオ	時間区分	使用料		
		1～7 日目	8～14 日目	15 日目以降
A	1 日（11：00～翌日 10：00） ※連続使用の場合は 11：00～翌日 11：00	770 円/日	530 円/日	390 円/日
B		2,130 円/日	1,460 円/日	1,070 円/日
C		2,930 円/日	2,010 円/日	1,470 円/日

10 月～4 月は暖房費を別途加算

### イ 交流スタジオ

スタジオ	時間区分	使用料
A B C	午前（9：00～12：00）	1,700円
	午後（13：00～17：00）	2,000円
	夜間（18：00～21：00）	2,600円
	全日（9：00～21：00）	5,200円

時間区分を超過又は繰り上げて使用する場合には、1時間につき520円を加算

### (3) 利用状況

#### ア 滞在スタジオ

	使用可能日数(※1)	使用日	利用率	利用者数(延べ)
平成28年度	4,654日	3,213日	69.0%	4,249人
平成29年度	4,654日	3,744日	80.4%	4,920人
平成30年度	4,667日	3,198日	68.5%	4,187人
令和元年度(※2)	3,621日	2,375日	65.6%	3,196人
令和2年度(※3)	4,628日	1,711日	37.0%	1,775人

(※1) 滞在スタジオの年間貸出日数(休館日除く) × 13室

(※2) 7/1～7/15及び9/1～10/31休館(改修工事のため)

(※3) 4/14～5/31新規利用者の受付休止(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

#### イ 交流スタジオ

	使用可能日数(※4)	使用日	利用率	利用者数(延べ)
平成28年度	918日	306日	33.3%	4,142人
平成29年度	924日	391日	42.3%	5,603人
平成30年度	927日	335日	36.1%	3,205人
令和元年度(※5)	651日	297日	45.6%	3,167人
令和2年度(※6)	795日	113日	14.2%	961人

(※4) 交流スタジオの年間貸出日数(休館日除く) × 3室

(※5) 7/1～7/15及び9/1～10/31休館(改修工事のため)、  
3/1～3/31一般利用休止(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

(※6) 4/14～5/31休館(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)



(4) 事業概要

ア 市民交流関連事業

事業内容	開催期間等	参加者数等	摘要
Art&Breakfast Day in 天神山	毎月第3日曜日	延べ53人	例年滞在アーティストと市民が交流できる朝食会を開催。令和2年度はオンラインミーティング形式で実施（全6回）。
天神山文化祭 2020	R2. 9～ R2. 12	来場者 180人 オンライン視聴者 310人	滞在アーティストと拠点周辺住民との交流を図ることのできる住民参加型プログラム。令和2年度は小規模企画を複数日に分けての開催やオンラインにより実施。
小・中学生向けプログラム「手紙の中の世界」	R2. 9. 1～ R3. 1. 17	作品応募 30人 (うち創作相談会 17人)	アーティストと連携し、札幌市内の小・中学生向け創作プログラムを実施
庭プロジェクト	通年不定期	-	滞在アーティストや来館者が施設周囲の花壇の整備等を通じて交流

イ 国際公募アーティスト・イン・レジデンス (AIR) 事業

事業内容	アーティスト活動期間	摘要
国際招へいプログラム「なかなかたどりつかないけど」	R2. 9. 1～R3. 3. 14	国際公募により選出した2組のアーティストがオンラインによる制作サポートを受け、リサーチや作品制作を行った。作品は市内3か所で発表

ウ 展示

事業内容	開催期間	入場者数	摘要
滞在アーティストによる展示	不定期	自由観覧	アートスタジオ内の展示スペースを活用した滞在成果等の展示

## 9 札幌大通地下ギャラリー500m 美術館

地下コンコースをアーティストの発表の場として提供し、市民が国内外の多彩な芸術作品に触れる機会を創出するとともに、札幌の文化芸術を内外に向けて発信することを目的に、平成 23 年 11 月 3 日文化の日に開設。

年間 4 回の企画展を実施し、市民が気軽に様々な芸術に触れ、創造性を喚起する機会を創出している。



### (1) 施設概要

所在地 中央区大通西 1 丁目～東 2 丁目（地下鉄大通駅～バスセンター前駅地下コンコース内）  
 照明点灯時間 午前 7 時半～午後 10 時

### (2) 施設の利用料金

無料

### (3) 事業概要

事業内容	開催期間	概要
令和元年度		
Vol. 29 「大地の物語」	R1. 4. 13 ～ R1. 6. 26	国際的な活動をみせるアーティストにフォーカスをあて、北海道を中心に国内外の「大地」を旅して、土地の歴史、特性などをリサーチしながら自らの感性を通じ表現した作品の企画展
Vol. 30 「思考するドローイング」	R1. 7. 13 ～ R1. 10. 2	アーティストが描くドローイングを通して、イメージを構築するプロセスや思考の変遷の履歴など、作者の内面を映す心象が感じられる企画展
Vol. 30 「The WALL 01」	R1. 7. 13 ～ R2. 1. 14	作家の鈴木ヒラクが、余市町フゴッペ洞窟、小樽手宮洞窟に刻まれた線刻壁画をコンセプトにライブドローイングにより描いた壁画作品
Vol. 31 500m美術館開館 8 周年企画 「札幌・ミュンヘン姉妹都市交流展」	R1. 10. 11 ～ R2. 1. 14	札幌の姉妹都市ドイツのミュンヘン市に焦点をあて、ミュンヘンゆかりの作家 4 組を招聘し開催した企画展
Vol. 32 「第 8 回札幌 500m美術館賞 入選展」	R2. 1. 25 ～	公募により選出された 4 名の作家による企画展 <入選者>大橋鉄郎、川田知志、木村充伯、西松秀祐 <グランプリ受賞者>川田知志
Vol. 32 「おとなもがんばるこども壁画」	R2. 3. 25	500m 美術館のボランティアチームである第 7 期 500メーターズが主体で企画立案した企画展
令和 2 年度		
Vol. 33 「反骨の創造性」	R2. 5. 16 ～ R3. 2. 23	北海道を代表する 4 名のベテラン作家による、祈りからの創造とも静かな反骨とも言える、力強い作品を集めた企画展

※令和 2 年度は札幌国際芸術祭の会場としての使用を予定していたため 1 回のみ。

## 10 大通情報ステーション

平成 19 年 10 月 30 日、市内の文化芸術及び観光に関する情報の収集や提供を行う案内所として、地下鉄南北線大通駅コンコース内に「観光文化情報ステーション」として開設。

平成 27 年 2 月 18 日に、新たに整備された大通交流拠点地下広場内に移転した。

平成 27 年 4 月からは、文化芸術及び観光に関する情報のほか、市内の交通、イベント情報及び都心部のショッピング情報をあわせて集約。市民及び観光客にわかりやすく情報提供ができるよう機能の拡充を図り、「大通情報ステーション」として、まちづくり政策局都心まちづくり推進室が運営を行っている。

ステーションでの有人案内（日本語、英語、中国語対応）のほか、ホームページや隔週発行の情報紙「Weekly press（ウィークリープレス）」によるイベント等周知を行うことにより、文化芸術活動を行う個人や団体の広報活動を支援し、「表現する人」と「表現活動を観たい人」をつなぐパイプ役として機能している。

### (1) 施設概要

所在地：中央区大通西 4 丁目地下

（地下鉄南北線大通駅コンコース横、大通交流拠点地下広場内）

開所時間：午前 10 時～午後 8 時（日・祝祭日は午後 7 時まで）

休業日：年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

規模：28.67 m<sup>2</sup>

開所：平成 19 年 10 月 30 日オープン（旧 観光文化情報ステーション）

平成 27 年 2 月 18 日リニューアルオープン（大通情報ステーション）

### (2) 利用状況

年 度	来場者数	HP アクセス数	印刷物取扱数
平成 30 年度	130,554 人	114,008 件	4,182 件
令和元年度	111,698 人	108,885 件	3,717 件
令和 2 年度	26,936 人	75,240 件	4,038 件



大通情報ステーション



ホームページ

## 11 さっぽろ芸術文化の館（旧北海道厚生年金会館）

国の年金福祉施設等の見直しに伴い北海道厚生年金会館が売却されることとなり、一般競争入札の結果、本市が落札し、平成 21 年 12 月 1 日から本市所管施設として「さっぽろ芸術文化の館」と改称し、札幌商工会議所に貸付をして管理運営を行った。本市所管施設として初めてネーミングライツを導入し、平成 22 年 4 月 1 日から、ホール部分について「ニトリ文化ホール」という愛称となった。北海道最大の客席数 2,300 席を有するこのホールは、毎年、30 万人以上に利用されていたが、施設の老朽化に伴い、平成 30 年 9 月末に閉館となった。

現在、解体作業を進めている。



### <施設概要>

所在地：中央区北 1 条西 12 丁目

電話：011-231-9551

F A X：011-261-1704

規模：敷地面積：11,639.08 m<sup>2</sup> 延床面積：30,930.89 m<sup>2</sup>

開設：平成 21 年 12 月 1 日（北海道厚生年金会館としては昭和 46 年 9 月 18 日開設）

閉館：平成 30 年 9 月 30 日

建物構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 地下 1 階地上 8 階建

施設内容：ホール（2,300 席）、ホテル（120 室 201 人）、会議室（13 室）、レストラン、喫茶

## 12 あげぼのアート&コミュニティセンター



あげぼのアート&コミュニティセンターは、平成16年3月に閉校した旧曙小学校跡施設を再整備し、文化芸術を発信し、地域とともに発展する施設として、平成21年11月23日にオープンした。

施設設置のメインテーマは「札幌の文化芸術の時代を拓く拠点」「文化芸術が地域力を高める拠点」「子どもも高齢者も暮らし続けられるまちの拠点」の3つであり、管理運営団体選定委員会の選考により選定された、特定非営利活動法人コンカリーニョが施設の運営を行っている。

### (1) 施設概要

所在地：中央区南11条西9丁目

電話：011-513-6181

FAX：011-513-6182

構造・規模：鉄筋コンクリート造 地上3階建

敷地面積：6,785 m<sup>2</sup>

延床面積：3,266 m<sup>2</sup>（うち校舎棟 2,380 m<sup>2</sup>、体育館 886 m<sup>2</sup>）

主要施設：教室等（19室）、体育館

開設：平成21年11月23日

※旧曙小学校の開設は昭和26年8月（札幌最古のRC造校舎）

### <施設内容>

#### ア 長期利用貸室

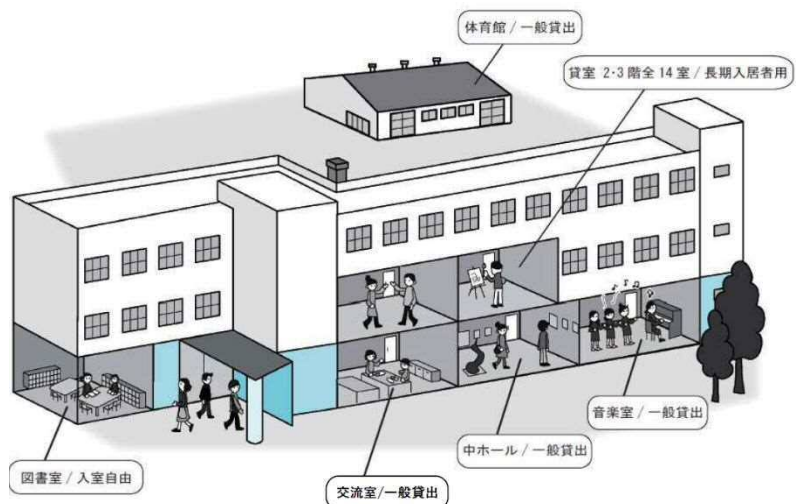
校舎棟2階、3階の全14教室を、長期利用スペースとして文化芸術活動を行う個人、団体に貸し出している。

#### イ 開放スペース

図書室・グラウンドを、誰でも利用できるスペースとして開放している。

#### ウ 一般貸出しスペース

体育館・中ホール・音楽室・交流室を、時間単位・半日単位等により貸し出している。



(2) 利用料金

ア 長期利用貸室

室名	区分(室数)	面積	賃料(月額)
貸室 A	小(2室)	約6坪(3m×7.1m)	24,000円
貸室 B	中(2室)	約12坪(6m×7.1m)	42,000円
貸室 C	大(8室)	約19坪(9m×7.1m)	54,000円
貸室 D	特大(2室)	約28坪(9m×10m)	66,000円

イ 一般貸出スペース

室名・利用条件等	区分(曜日・時間帯等)	料金	備考
体育館	平日(午前・午後) 9:00~18:00	1,600円/1時間	11月~3月は冬期暖房費として別途1,100円/1時間
	平日(夜間) 18:00~21:00	2,800円/1時間	
	土・日・祝日 10:00~20:00	3,000円/1時間	
中ホール (15m×7.1m) ※ 午前・午後・夜間・終日の各区分については、音楽演奏やダンス練習、劇団の稽古などの練習時には、割引料金を適用する。	午前(9:00~12:30)	4,000円/区分 ※3,200円/区分	11月~4月は冬期暖房費として別途600円/区分
	午後(13:00~17:30)	4,400円/区分 ※3,500円/区分	
	夜間(18:00~22:00)	4,800円/区分 ※3,800円/区分	
	終日(9:00~22:00)	13,200円/日 ※10,500円/日	
音楽室 (9m×7.1m)	午前(9:00~12:30)	2,300円/区分	11月~4月は冬期暖房費として別途500円/区分
	午後(13:00~17:30)	2,500円/区分	
	夜間(18:00~22:00)	2,700円/区分	
	終日(9:00~22:00)	7,500円/日	
交流室	午前(9:00~12:30)	1,700円/区分	11月~4月は冬期暖房費として別途300円/区分
	午後(13:00~17:30)	2,000円/区分	
	夜間(18:00~22:00)	1,700円/区分	
	終日(9:00~22:00)	5,400円/日	

(3) 利用状況 ※令和2年度

ア 長期利用貸室

稼働率	活動人数
96.1%	5,389人

イ 一般貸出スペース

室名	利用件数	稼働時間	稼働率	利用人数
体育館	947件	2,236.0時間	74.4%	15,908人
中ホール	451件	1,821.0時間	57.3%	3,804人
音楽室	541件	2,200.0時間	69.2%	3,099人
交流室	102件	426.0時間	13.4%	517人
合計	2,041件	6,683.0時間	51.5%	23,328人

### 13 ターミナルプラザことにパトス

ターミナルプラザことにパトスは地下鉄琴似駅の構内にあり、平成5年に開設された芸術・文化活動などを行うことができる多目的スペースである。

施設はイベントホール・スタジオ・ギャラリーからなり、コンサートやイベントなどの各種催し物のほか、会合や展示会・講習会など、幅広い用途に利用することができる。

管理運営は特定非営利活動法人コンカリーニョが行っており、貸館事業のほか、市民の芸術文化を応援する各種事業を実施し、地域に根ざした活動を目指している。

#### (1) 施設概要

所在地：西区琴似1条4丁目（地下鉄琴似駅地下2階）

電話：011-612-8383

FAX：011-612-6656

総床面積：534.29㎡

#### <施設内容>

##### ア イベントホール

固定席を持たないオープンスペース。

演劇・ダンス・コンサート・ピアノの発表会や作品展など多目的に利用可能。

利用時間：10：00～22：00 ※年中無休（受付時間13：00～20：00）

広 さ：156.52㎡（17.2m×9.1m）

利用料金：平日45,360円（全日）、土日祝日75,600円（全日）ほか

観客収容：通常99名（150名まで可能 要申請）

##### イ スタジオ（3室）

バンドやピアノなど各種音楽の練習用として利用可能。

利用時間：平日17：00～22：00、土曜13：00～22：00、日曜・祝日13：00～20：00

※月曜休業（月曜祝日の場合にはその翌日）

広 さ：スタジオA（15㎡）、スタジオB（11㎡）、スタジオC（10㎡）

利用料金：スタジオA・B・Cいずれも 1時間1名につき400円

部屋貸1時間1,000円（3名以上から）

##### ウ ギャラリー（2区画）

利用時間：スタジオ営業時間と同様

広 さ：ギャラリーA 33.51㎡（5.5m×5.6m）、ギャラリーB 33.51㎡

利用料金：1時間1,000円、延長料金1時間につき1,000円、ピアノ利用1時間1,000円

#### (2) 利用状況

令和2年3月から新型コロナウイルス感染症の影響により、休館しており、令和2年度実績はなし

##### ア イベントホール

年度	利用件数（件）	利用人数（人）	稼働率（%）
29	586	20,227	54.56
30	604	20,450	56.24
元	476	17,247	44.20

※稼働率＝利用件数／利用可能件数（稼働日数×3区分）×100

### イ スタジオ (3室)

年 度	利用人数 (人)	利用時間 (時間)	稼働率 (%)
29	1,522	1,963.5	35.25
30	1,418	1,616.5	29.16
元	1,042	1,446.0	26.05

※利用人数及び利用時間は3室の合計

※稼働率=利用時間/利用可能時間数 (1室あたり時間数×3室) ×100

### ウ ギャラリー

年度	A【壁面】	A【専有】	B【壁面】	B【専有】
	利用件数 (件)	利用件数 (件)	利用件数 (件)	利用件数 (件)
29	10	34	4	112
30	7	44	0	102
元	0	31	0	138